

## 第30回 東備西播定住自立圏形成推進協議会 会議録

1 日 時 令和4年12月26日(月) 10:00～11:00

2 場 所 赤穂市役所6階 大会議室

### 3 出席者

#### (1) 委 員

牟礼 正稔	赤穂市長
藤本 大祐	赤穂市副市長
山田 昌弘	赤穂市議会議長
前田 尚志	赤穂市議会副議長
吉村 武司	備前市長
杉浦 俊太郎	備前市副市長
守井 秀龍	備前市議会議長
森本 洋子	備前市議会副議長
梅田 修作	上郡町長
山本 高士	上郡町副町長
木村 公男	上郡町議会議長
立花 照弘	上郡町議会副議長

#### (2) 幹 事

赤穂市：尾崎市長公室長  
上郡町：宮下企画広報課長

#### (3) 事務局及び各市町担当者

赤穂市：玉木企画政策課長、庵原企画係長、建部主査  
備前市：馬場企画課長、後藤企画係長  
上郡町：高永企画広報係長

#### (4) 説明員

①教育施設部会：笠原赤穂市スポーツ推進課長  
②給食部会：前川上郡町生涯学習課長  
③観光部会：片岡備前市文化観光課長  
④農林商工部会：種継上郡町農林振興課長(代理)  
⑤交通部会：杉山備前市公共交通課長  
⑥通信情報部会：古谷赤穂市デジタル化推進担当課長  
⑦職員部会：末井赤穂市人事課長  
⑧交流定住部会：寺下赤穂市観光課長  
⑨医療分野：平松赤穂市民病院総務課長(代理)

#### 4 会議の概要

##### (1) 開 会

##### (2) 会長あいさつ

##### (3) 報告事項

- ・令和3年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告について
- ・令和3年度東備西播定住自立圏形成推進協議会決算について

##### (4) その他

- ・(参考) 東備西播定住自立圏共生ビジョン令和4年度上半期実施状況
- ・(参考) JR 西日本㈱に対する「在来線(山陽本線・赤穂線)の利便性向上に関する要望書」について

##### (5) 閉 会

#### 5 議事の概要

尾崎幹事

ただ今から、第30回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたします。本日の進行をさせていただきます、赤穂市市長公室長の尾崎です。どうぞ、よろしく願いいたします。

さて、議事に入ります前に、本日の協議会に傍聴の申し出がございます。会議の傍聴につきましては、本協議会「会議規程」第2条で原則公開となっておりますが、出席委員の過半数の決定により非公開とすることができます。

本日の議事内容は、お手元のとおりでありますので、会議の冒頭から傍聴を認めたいと思います。

また、写真等の撮影希望があれば「会長あいさつ」までとし、会議中の撮影、録音はできないこととしたいと考えておりますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

異議なしというお言葉をいただきましたので、傍聴を認めるということで、傍聴を希望されている方にお入りいただきます。しばらくお待ちください。

(傍聴者入室)

それでは、開会にあたりまして、当協議会の会長であります赤穂市の牟礼市長よりご挨拶を申し上げます。

牟礼会長

改めまして、皆様、こんにちは。

本日は、年末の大変お忙しい中ご出席を賜り、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

今回は30回目の協議会とのことで、節目の回数だと思っております。東備西播定住自立圏形成推進事業につきましては、備前市さん、上郡町さん、そして赤穂市と2市1町がこれまで連携してまいりました。改めまして、これまで実施してきた事業につきましてお礼を申し上げたいと思います。

現在、令和2年度から令和6年度までの5か年の共生ビジョンを基に、連携事業を展開しているところでございます。令和2年度、3年度の2か年については、新型コロナウイルス感染症により十分な事業展開が図られておりませんが、令和4年

度につきましては、徐々にコロナ以前のような事業を実施できるようになってきているというところでございます。

新型コロナウイルス感染症はまだまだ予断を許しません、皆様のご協力をもって、この協議会の意義を再認識し、事業展開を図ってまいりたいと思いますので、引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願ひしたいと思います。

本日は、令和3年度の協議会の事業報告と決算につきましてご報告させていただきますとともに、令和4年度上半期の実施状況もご報告させていただきたいと思ひます。

委員の皆様方には、年末のお忙しい中ご出席を賜り、改めて心よりお礼を申しあげます。

円滑な議事が進みますようご協力をお願い申し上げまして、冒頭での挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

尾崎幹事

ありがとうございました。なお、お手元に委員名簿並びに部会別役割分担表を配布しておりますが、前回の3月の協議会以降、備前市の副議長が掛谷 繁様から森本 洋子様に変更となっておりますので、ご報告させていただきます。

それでは協議会規約第11条第2項の規定により、会長が議長に当たることとなっておりますので、牟礼会長に議事進行をお願いいたします。

牟礼会長

それでは、3の報告事項に入ります。

(1) 令和3年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告について、(2) 令和3年度東備西播定住自立圏形成推進協議会決算について、それぞれ関連がありますので一括して報告いたします。

事務局、説明をお願いします。

事務局

それでは、令和3年度東備西播定住自立圏形成推進協議会事業報告及び決算について、ご説明申し上げます。

第30回東備西播定住自立圏形成推進協議会と表紙に記載しております資料の1ページをお願いいたします。

はじめに、(1) 東備西播定住自立圏形成推進協議会について、であります。

令和3年12月23日に第28回協議会を開催し、令和2年度の事業報告及び決算、ならびに東備西播定住自立圏域におけるJRへの取組みについてご協賛をいただきました。

次に、令和4年3月22日に第29回協議会を開催し、共生ビジョン第2回変更と令和4年度予算についてご協賛いただきました。

次に、(2) 事業報告について、であります。

事業報告につきましては、別冊の「令和3年度事業報告書」でご説明いたします。

1ページをお願いいたします。

「地域医療の連携」として、はじめに、中ほど医療連携研究会事業ですが、講演

会を2回開催しており、第1回のテーマが『赤字病院からのV字脱却を検証する』について、第2回のテーマが『意識改革とチーム医療による経営改善』について公演を行いました。

第1回の参加者が72名、第2回が89名で、事業費は掲記のとおりでございます。

続きまして、2ページをお願いいたします。

上段、看護職員教育研修支援事業ですが、看護職員の研修用シミュレータなどを購入し、新人看護職員のレベルアップに活用をしております。

購入した研修用備品及び購入金額は、掲記のとおりでございます。

次に、3ページ圏域住民診療支援事業ですが、赤穂市民病院におきまして、平成29年9月から分娩を休止しておりますので、事業としては実施しておりません。

続きまして、4ページをお願いいたします。

「生涯学習の推進」をご覧ください。

まず、日本遺産を活かした地域の魅力向上事業について、であります。

圏域の日本遺産に関する講演会ということで、令和4年1月29日に、赤穂の塩づくりの歴史についてというテーマ講演会を実施し、当日42人参加いただいております。事業費につきましては、掲記のとおりでございます。

次に、5ページの図書館相互利用推進事業について、であります。

平成23年4月より、3市町の公立図書館と、関西福祉大学図書館の各図書館の相互利用を行っております。

各図書館への登録状況及び事業費につきましては、掲記のとおりでございます。

続きまして、5ページ下段の図書館読書活動推進事業についてであります。赤穂市立図書館と関西福祉大学図書館において、読書活動を推進するため、共同で「おすすめえほん」の企画展示をしたもので、参加者は、合計で約1,300名でございます。

続きまして、6ページの文化・スポーツ交流事業ですが、3市町のスポーツ推進委員の情報交換会、赤穂シティマラソンオンライン大会、備前日生大橋全国オンラインマラソンへの大会運営協力など、交流事業を実施しました。

続きまして、7ページをお願いいたします。

文化・スポーツ施設相互利用促進事業ですが、3市町の文化・スポーツ施設の使用料金格差をなくし、お互い利用しやすくするように、平成23年4月より相互利用を開始しております。

続きまして、8ページをお願いいたします。

トップアスリート等招聘事業ですが、オリンピック日本代表2名を講師に招き、備前市総合運動公園において、陸上競技教室を開催いたしました。

参加者は、152名で、事業費は、掲記のとおりでございます。

続きましてその下、中学校吹奏楽部交流助成事業ですが、こちらは3市町の中学校吹奏楽部による交流事業に対して、助成するものであります。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止いたしております。

続きまして、9ページをお願いいたします。

圏域中学生体験（社会福祉・看護・教育）プログラム事業ですが、こちらは圏域内3市町の中学生が、関西福祉大学において、社会福祉・看護・教育に関する専門的なプログラムの体験を、学校教育における授業として、実施するものでございます。

7校の生徒 451名が参加し、事業費は掲記のとおりでございます。

続きまして、赤穂市生涯学習施設整備事業ですが、赤穂市の負担により、赤穂市文化会館舞台照明負荷設備改修工事を行いました。

続きまして、備前市生涯学習施設整備事業ですが、備前市の負担により、市民センター南北面屋根防水改修工事、日生市民会館自動火災報知設備等取替工事などを行いました。

続きまして、11ページをお願いいたします。

上郡町スポーツ施設整備事業ですが、上郡町の負担により、上郡町スポーツセンターの温水プール改修工事を行いました。

続きまして、12ページをお願いいたします。

「学校給食の広域連携」であります。

学校給食連携事業ですが、こちらは学校給食の食材に関する情報交換や、圏域における地元食材等の相互活用を行うものであります。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、13ページをお願いいたします。

「地産地消の推進及び地域ブランドの発掘」であります。

はじめに、地域ブランド発掘事業ですが、地域ブランド発掘支援金として2団体に支援金を交付しております。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、15ページをお願いいたします。

観光振興推進事業ですが、東備西播圏域周遊旅行プラン企画造成、旅行会社商談などを行いました。事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、16ページをお願いいたします。

中ほど、有害鳥獣対策事業ですが、猟友会活動用資材の現物支給や捕獲活動用消耗品の支出を行いました。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、17ページをお願いいたします。

中ほど、企業誘致促進事業ですが、企業誘致活動を効果的に推進するため、担当者会などを開催し、令和4年3月15日から18日にオンライン形式で、在京5社とWeb面談を実施しております。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、18ページをお願いいたします。

「地域公共交通」であります。こちらは2事業、実施しております。

はじめに、圏域バス運行事業ですが、圏域住民の移動手段の確保と、利便性の向上を図るため、圏域バス「ていじゅうろう」を運行しております。

利用者数につきましては、下段の運行状況一覧表のとおりで、上郡ルートが5, 213名、備前ルートが3, 475名、合計で8, 688名でした。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、19ページをお願いいたします。

JR利便性向上事業ですが、JR山陽本線と赤穂線の利便性向上を図るため、兵庫・岡山両県境協議会の要望とあわせて、JR西日本に対して要望を行いました。

また、令和4年3月22日に東備西播定住自立圏域JR利用促進協議会を設置し、圏域内を運行するJR山陽本線及びJR赤穂線の利用を促進するとともに、交流人口及び関係人口の拡大による圏域の地域経済の活性化とJR両線の永続的な発展を図ることとしております。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、19ページ「ICTインフラ整備」として、地域情報活性化事業を実施しております。

圏域ホームページ「ともりんく」を運用し、地域コミュニティの活性化を図りました。

続きまして、21ページをお願いいたします。

「地域内外の住民との交流・移住促進」です。

はじめに、民間イベント等助成事業ですが、圏域内外の住民交流の促進と賑わいを創出する事業として、8団体が実施するイベントに対して補助を行いました。

事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、22ページをお願いいたします。

こどもと学生のふれあい活動支援事業ですが、こちらは関西福祉大学の学生ボランティアが、夏休み期間中に実施する、こども宿題教室等の経費に対し、補助をするものであります。

3市町あわせて、91名の小学生が参加し、事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、地域連携フォーラム支援事業ですが、こちらは関西福祉大学が、福祉、看護、教育の視点から、様々な地域課題の解決に向けて取り組む、地域連携フォーラムであります。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としております。

続きまして、23ページをお願いいたします。

定住相談会開催等事業ですが、「田舎暮らし本」に現地取材や移住者インタビューなどを掲載し、2市1町の情報発信をしたほかに、オンラインによる定住相談会に参加して、圏域外に2市1町の魅力発信を行いました。事業費は、掲記のとおりでございます。

続きまして、24ページ縁結び事業ですが、こちらは圏域内の男女に、圏域の魅力ある資源を活用した、出会いイベントを開催する事業であります。

令和4年1月16日に『ときめき スウィーツ ウィンター カップリングパーティー』と題しまして婚活イベントを開催しております。

男性14名と、女性12名の参加がありまして、このうち5組のカップルが成立しております。事業費は、掲記のとおりでございます。

つぎに下段、定住相談員設置事業ですが、定住に関するさまざまな要望に対して、迅速・的確にこたえるため、平成28年度から、3市町にそれぞれ各1名、「定住相談員」を配置しております。

日頃の定住に関する問い合わせの対応をはじめ、定住相談会への同行や、お試し暮らし住宅の案内、利用者への対応などを行っております。

事業費は、人件費が主なもので、掲記のとおりでございます。

続きまして、25ページをお願いいたします。

「圏域内の職員等の交流」ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、職員研修事業、専門家招へい事業といった研修は中止としており、2市1町の人事労務担当にて情報交換等を行いました。

令和3年度の事業報告については、以上でございます。

続きまして、第30回 東備西播定住自立圏形成推進協議会と表紙に書いております資料に戻っていただきまして、2ページをお願いいたします。

横長になっております、令和3年度歳入歳出決算について、であります。

上段には、決算額の集計を記載しております。

中ほど、歳入総額は、3,992万382円、歳出総額は、3,360万2,090円で、差引残額は、631万8,292円となっております。

なお、残額につきましては、令和4年度へ繰越しをさせていただいております。

それでは、歳入、歳出別に、ご説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、はじめに次のページの歳出をお願いいたします。

まず、1款1項1目、一般管理費ですが、こちらは事務局の会計年度任用職員に係る報酬や共済費など、主に事務局の運営経費であります。

執行額は、支出済額の一番上のとおり、304万778円であります。

続きまして、2款1項1目、活動事業費ですが、内容といたしましては、先ほど事業報告でご説明させていただいた、事業に対する経費であります。

執行額は、事業費の支出済額のところ、3,056万1,312円であります。

3款1項1目、予備費の執行はございません。

結果、歳出合計は、支出済額の一番下、3,360万2,090円であります。

戻っていただきまして、前ページの歳入をお願いいたします。

はじめに、1款1項1目、負担金であります。

収入済額の一番上のとおり、3市町から、あわせて3,169万2,494円を負担いただいております。

つぎに、2款1項1目、繰越金が 820万3,464円、

3款1項1目、雑入が、2万4,424円、それぞれ収入しております。

結果、歳入合計は、収入済額の一番下、3,992万382円であります。

令和3年度の決算につきましては、以上でございます。

牟礼会長

事務局の説明は終わりました。  
次に、決算審査報告を、監事である備前市議会議長及び上郡町議会議長を代表して、備前市の守井委員からお願いしたいと思います。

守井監事

監事を代表して、決算審査報告をいたします。

東備西播定住自立圏形成推進協議会規約第9条第2項の規定に基づき、令和3年度東備西播定住自立圏形成推進協議会会計について、会計監査を実施しました。

監査の日時及び場所は、令和4年5月23日午前10時から備前市役所、5月25日午前10時から上郡町役場において行いました。

監査の結果、令和3年度東備西播定住自立圏形成推進協議会会計にかかる出納その他付属書類について、諸帳簿等が適正かつ正確に処理されていることを認めましたので、ご報告いたします。

以上、決算審査報告を終わります。

牟礼会長

ありがとうございました。決算に関する説明は終わりました。  
以上の報告事項について何か質問等ありますか。

(特になし)

特にないようですので、ただいまの事業報告及び決算報告につきまして、承認いただいてもよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、承認とさせていただきます。

次は、4のその他に入ります。

参考としております、東備西播定住自立圏共生ビジョン令和4年度上半期実施状況について、事務局、説明してください。

事務局

それでは、令和4年度上半期の事業実施状況について、ご説明申し上げます。  
先ほどの令和3年度事業報告におきまして、各事業のご説明をさせていただきましたが、令和4年度におきましても継続事業となっておりますので、開催、または今後開催する予定の主な事業についてのみ、ご説明させていただきます。

資料2、令和4年度事業報告書(上半期)の3ページをお願いいたします。

教育分野、生涯学習の推進についてであります。

令和2年度から新しい共生ビジョンの事業として、「日本遺産を活かした地域の魅力向上事業」に取り組んでおります。

今年7月29日に新たに備前市さんの3つめの日本遺産に、「北前船寄港地」として追加認定されました記念講演会として、来年1月28日に備前市市民センターにおいて、一般社団法人 北前船交流拡大機構の上席研究員 中野先生を講師にお招きし、東備西播の日本遺産講演会「北前船入門」と題して、ご講演いただくことと



しております、現在、2市1町で受講者を募集しております。

続きまして、4ページをお願いいたします。

図書館相互利用推進事業ですが、こちらは、それぞれ2市1町にある図書館の相互利用を推進するため、本の返却を住民が住んでいる市町の図書館から、本を借りた他の市町の図書館まで返却する、託送サービスを実施しております。

上半期までの各図書館における登録状況については、掲記のとおりで、合計2,137人となっております。

続きまして、5ページをお願いいたします。

上段、図書館読書活動推進事業ですが、4月15日から6月12日にかけて、圏域内の4つの図書館で「おすすめ絵本展」を、開催しております。

絵本展にお越しいただいた方は、800人となっております。

次に、その下、文化・スポーツ交流事業であります。

8月1日に2市1町のスポーツ推進委員と担当職員による情報交換を実施したほか、11月13日には2年ぶりの現地開催となる赤穂シティマラソン大会を開催しております。また、記載されておりませんが、備前市さんにおいて来年3月4日から17日にかけて、備前♡日生大橋全国オンラインマラソン大会を開催する予定としております。

続きまして、7ページをお願いいたします。

中ほど、中学校吹奏楽部交流助成事業であります。

新型コロナウイルスの影響で、この2年間開催されておりませんでした。来年2月11日に備前市の3中学校、赤穂市の2中学校、上郡町の1中学校が参加して、赤穂化成ハーモニーホールで実施することとしております。

次にその下、圏域中学生体験プログラム事業ですが、こちらは圏域内の中学生が、関西福祉大学において、社会福祉、看護、教育に関する専門的なプログラム体験を、学校教育における授業として実施するもので、上郡中学校は今回参加を見送りましたが、備前市内の2中学校（備前中学校、日生中学校）と、赤穂市内の5中学校（赤穂中学校、赤穂西中学校、赤穂東中学校、坂越中学校、有年中学校）が参加し、10月28日から12月16日にかけて実施しております。

続きまして、11ページをお願いいたします。

地域ブランド発掘事業であります。

2の地域ブランド発掘支援金ですが、赤穂市内の認定新規就農者に対して、あこうフルーツ農園ブランド化推進事業として、「ぶどう、もも、ミカン等」の販売を促進するのぼりや、包装用シール、シヨップカードなどを作成する費用として

194,150円を、また上郡町内の農事組合法人に対して、ブランド米や落花生、枝豆などの新たな販路を開拓するためにホームページを作成費用として、200,000円を補助することとしております。

続きまして、15ページをお願いいたします。

地域公共交通ネットワークの構築について、であります。

圏域バス運行事業として、「ていじゅうろう」が上郡ルートと備前ルートを運行しております。

4月から9月の実績ですが、利用者総数は、少し字が小さいですが、一番下、左

から3番目、4, 462人で、内訳は上郡ルートが2, 588人、備前ルートが1, 874人となっており、昨年同期の利用者数と比較すると、36人の増となっております。

続きまして、16ページをお願いいたします。

JR利便性向上事業であります。

本年3月に設置いたしました東備西播定住自立圏域JR利用促進協議会の活動として、5月27日に備前市さんは西片上駅、赤穂市は申し訳ございません、記載が漏れておりますが、播州赤穂駅と有年駅、上郡町さんは上郡駅で、それぞれ「電車で行こう、みんなでつなごう、この路線」と書かれたのぼりを掲出して、JRを利用される方に対して、利用促進について書かれたボールペンとティッシュをお配りし、利用促進活動を実施いたしました。

また、上半期の実施状況として記載しておりませんが、11月14日にJR兵庫支社、11月25日にJR岡山支社を市長、町長、担当職員が訪問し、昨年10月、また本年3月に削減や繰り上げ、繰り下げされたダイヤの復元等について要望書を提出しております。

続きまして、18ページをお願いいたします。

地域内外の住民との交流・移住促進を図る民間イベント等助成事業についてであります。

圏域内の住民交流の促進と賑わいの創出を図るため、記載しております9団体から応募があり、それぞれイベントを実施していただくこととしております。

9団体のうち、1番と、3番、9番の3団体については、今年度新たに申請いただいたイベントとなっております。

昨年度は2つのイベントが、新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、今年度については、今のところ、イベント中止の申し出はいただいておりません。

続きまして、19ページをお願いいたします。

こどもと学生のふれあい活動支援事業であります。

こちらは、関西福祉大学の学生が、2市1町の小学生を対象に、夏休みの学習を支援し、子どもたちの学力向上と世代間交流によって、社会性を備えた豊かな心を育むことを目的に、8月1日と2日の2日間、関西福祉大学で実施しております。

参加者は、延べ157名で、実人員の内訳は赤穂市が96名、上郡町が12名、備前市が19名、その他が3名の合計130名でございます。

続きまして、その下、地域連携フォーラムであります。

昨年、一昨年と新型コロナウイルスの影響により、中止となっておりますが、今年度は3年ぶりの開催となっております。

11月20日、関西福祉大学に東京大学名誉教授の養老 孟司先生をお招きし、「今、しあわせに生きるということ」と題して、ご講演いただいております。

参加者は、事前申込みのありました200名となっております。

続きまして、20ページをお願いいたします。

定住相談会開催等事業について、であります。

中ほど、移住相談会ですが、7月31日に大阪 OMM ビルで開催されました「おいでや！いなか暮らしフェア2022」に参加し、36件の移住相談を受けております。また、9月25日に東京国際フォーラムで開催されました「ふるさと回帰フ

フェア2022」に参加し、27件の移住相談を受けております。

さらに、来年1月14日に大阪 OMM ビルで開催される「兵庫県・岡山県合同移住相談会」にも参加する予定で、引き続き、2市1町への移住定住に結びつけていきたいと考えております。

続きまして、21ページをお願いいたします。

下段、定住相談員設置事業ですが、平成28年度から2市1町に、それぞれ定住相談員を1名ずつ配置し、移住を検討している方への相談や、お試し暮らし住宅への案内、その他、定住に関するさまざまなご要望に迅速かつ的確にお応えすることとしております。

続きまして、最後、23ページをお願いいたします。

専門家招へい事業について、であります。

こちらは、赤穂市子育て支援課が主催する「ヤングケアラー研修会」に関係職員等が参加し、関西福祉大学准教授の高田先生と尼崎市などでご活躍されておりますスクールソーシャルワーカーの黒光先生を講師に、8月25日、赤穂化成ハーモニーホールで開催されました「ヤングケアラーの問題に関する講演」を拝聴しております。

東備西播、2市1町の職員、61名の参加となっております。

令和4年度、上半期の主な事業の実施状況は、以上でございます。

牟礼会長

事務局の説明は終わりました。

事業実施内容について、何か質問等ございますか。

(特になし)

特にないようですので、続いて JR 西日本㈱に対する「在来線（山陽本線・赤穂線）の利便性向上に関する要望書」について、事務局、説明してください。

事務局

それでは、JR西日本に対する山陽本線・赤穂線の利便性向上に関する要望書について、ご説明申し上げます。

お手元の資料3 西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 兵庫支社長あてに提出いたしました要望書をお願いいたします。

こちらは、11月14日に兵庫支社長に提出した要望書となっておりますが、11月25日に岡山支社長に提出した要望書についても、記載内容については同じものとなっております。

3枚めくっていただきまして、要望項目をお願いいたします。

先日、12月16日に報道発表されました、お配りしておりますJRの資料によりますと、来年3月18日のダイヤ改正において、1枚目及び2枚目の一番下に書かれておりますところですが、「ご利用にあわせて列車の一部を見直す」として、赤穂線の概ね11時から15時台の、播州赤穂駅～長船駅間の2往復の運転を取りやめるとされております。

このことについては、現在、概ね1時間に1本の運行となっているものが、運行していない時間帯が出てくるということで、特に赤穂市及び備前市にお住まいの方の通勤・通学・通院等に大きな影響を及ぼすものでありますことから、今後さらに、

J R利用促進協議会で連携して、J Rに対して強く要望していくとともに、さらなる利用促進策についても、連携して検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

牟礼会長 事務局の説明は終わりました。JR への要望書について、何か質問等ございますか。

播州赤穂駅から長船間の2往復の運転が取りやめられることになり、赤穂市の小学生に影響が及んでおります。私が姫路に行った際も、電車が1時間に1本となると予定が組みにくく、待ち時間も長く感じました。

3月のダイヤ改正につきましては、皆様にご相談させていただいた上で、JRさんに要望書を提出させていただこうと考えております。その際は、よろしく願います。

ほかにご質問等ございますか。

せっかくの機会ですので、皆様から何かご発言がありましたら、おっしゃってください。

守井監事 東備西播定住自立圏形成推進協議会も開始から15年となりましたが、最近は定住自立圏自体について、あまり報道されていないようです。

当初は国からかなり補助金を受けてきましたが、最近の定住自立圏に関する状況を教えていただきたいと思っております。

牟礼会長 事務局、いかがですか。

事務局 おっしゃるように、定住自立圏についてはあまり報道されておりませんが、連携中枢都市圏というものが新たにできましたので、どちらかと言えば、連携中枢都市圏の方が取り上げられているように思います。

財源については、以前は特別交付税として中心市に8,000万円程度、中心市以外に1,500万円が措置されておりましたが、現在は中心市以外の近隣市町については、一般財源の8割で1,800万円と改正されました。

守井監事 特別交付税としては、減ってきたという状況でしょうか。

事務局 以前は8割という制限がありませんでしたが、現在は事業費の8割が措置されることになっております。

牟礼会長 ほかにご意見等ございますか。

(特になし)

ないようですので、他に事務局より報告すべき事項があれば、お願いします。

尾崎委員 次回の協議会は、令和5年度予算などをご協議いただく予定としておりますが、開催日につきましては、改めて通知させていただきたいと思っております。

以上です。

牟礼会長

その他にありませんか。  
ないようですので、本日の会議は終了いたします。  
年末のお忙しい中、誠にありがとうございました。